

ポータブルパワーソース

取扱説明書 (保証書付)

PS-64000



 株式会社 日立オートパーツ&サービス

このたびは、ポータブルパワースourcePS-64000をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意	1~5
使用上のご注意	6
構成部品一覧表	7
本体・付属品各部の名称と働き	8~12
仕様	13
使用方法	
1. LCD表示	14~15
2. ジャンプスタート	16~19
3. バックアップ電源(12V車両)	20~22
4. AC 100V出力	23~26
5. 直流機器のサブ電源	27~28
6. USB出力による充電	28~29
7. LEDライト	29
保守管理	
1. 本体の充電	30
2. 保管方法	30
3. フィルターの清掃	31~32
4. OBDIIケーブル、シガーバックアップケーブルのヒューズ交換	33
故障かな?という場合に	34
保証規定	35
保証書	36
お問い合わせ先	37

安全上のご注意(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



この絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
本体から電解液が漏出している場合や異臭がする時には直ちに 火気より遠ざけて使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない 万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな 水で充分洗った後、直ちに医師の診察を受ける 失明や皮膚に障害を起こす原因となります。	
エンジン始動後やエンジン始動に失敗した場合は、出力セレクトスイッチを OFFの位置にして、すみやかにジャンプスタータケーブルを取り外す 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
USB出力による充電終了後、本体と被充電機器との接続をすみやかに解除する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ACプラグ、シガープラグ、USBコネクタは根元まで確実に差し込む ホコリによる火災や感電の原因となります。	
本体を充電する際は、当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外す 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体の充電は温度が0~40℃の環境で行う 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する 発火時に水をかけると感電の原因となります。	
AC100V出力の際、使用する機器記載の注意事項を厳守する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体は水平で安定した場所に置いて使用・充電する(倒れた状態で使用・充電しない) 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

手やケーブルなどがぬれた状態で本製品を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
風呂場やプール、海など水没の危険がある場所では使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所 指定されている場所では使用しない 火災や引火・爆発する原因となります。	
可燃物や重いものを乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない 発熱、発火、破裂、液もれの原因となります。	
本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器などに使用しない 事故、火災、ケガの原因となります。	
本製品を接続した状態で車を走行させない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
ぬらしたりしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
故障のまま使用しない スイッチが操作できないなどの故障の状態で使用しないでください。 すぐに使用を中止してカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。 そのまま使用すると本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
端子類を指で触れたり異物を入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体内部、ケーブル類に異物を入れたり差し込んだりしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
直射日光が当たる場所や、夏季の車両内など気温45℃を超える環境および湿度 70%を超える環境で保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
分解や改造はしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
加熱したり、火や水の中に入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

ストーブなど熱源に近づけない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
付属品のコード類を束ねたまま使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
付属品以外のケーブル・アダプターを使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品付属品を本製品以外に使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体・付属ケーブル・付属充電器を落下させたり、衝撃を与えない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
使用時および充電時に、たばこなどの火気を近づけない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
木くず、紙、布など可燃物のある場所で使用および充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
可燃性の気体や液体のある場所で使用および充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
端子の両極性を金属で接続しない また、ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない 感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。	
電子レンジや高圧容器に入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ペットなどの動物に本製品を触れさせない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ジャンプスタータケーブルの赤と黒のクリップを同一端子への接続、逆接続および車両との接触をさせない けがや事故、火災、車両故障および本体故障の原因となります。	
本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わない 一度この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。 そのままクランキング動作を行うと、発火、破裂、漏液の原因となります。	
車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しない 本製品は車両バッテリーの応急補助製品であり、車両バッテリーの代わりとしては使用できません。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

ジャンプスタート以外でジャンプスタータケーブルを本体に接続しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
極度に劣化または深放電しているバッテリーおよび故障バッテリーのジャンプスタートをしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
満充電の状態で充電をしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
AC充電器は指定された電源電圧以外の電圧で使用しない(日本国内のみ) AC充電器の指定電源電圧は交流100~240Vです。直流電源および日本国外で使用しないでください。感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。	
充電器を屋外で使用しない 感電、火災、ケガの原因となります。	
LEDライトを人の目に向けて照射しない 失明の原因となります。	
本体の充電をしながら本製品を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品を取扱説明書記載の使用方法以外を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品のAC100V出力を、医療機器や電源停止により人が死亡または重症を負うと想定される機器、公共性の高い機器、産業用機器などには使用しない 事故の原因となります。	
本製品のAC100V出力端子に金属類を差し込んだりしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品のAC100V出力端子にAC100Vを入力しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
梱包用の袋および通気の妨げになる物に本体を入れて使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本体や付属ケーブルがエンジンなどに巻き込まれないように注意する 本体・車両故障、けがの原因となります。	

本製品の取り扱いを誤ったことで、車両や車載品、使用する機器などの事故や破損、損害が発生した場合、弊社では一切の責任を負いかねます。また保証の対象外となります。

使用上のご注意

- 本製品は防水されていませんので水に濡らさないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
- 高い電磁環境に近づけないでください。本体の損傷や動作不良の原因となります。
- 長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに充電を行ってください。
- 各出力／入力端子使用時以外は、前面・後面カバーを閉じてください。
- ジャンプスタータケーブルの接続は、クリップ(赤)、クリップ(黒)の順番で接続してください。解除はクリップ(黒)、クリップ(赤)の順番で行ってください。
- ジャンプスタートに失敗した場合は、ジャンプスタートを中止してください。本製品の出力電流仕様を超えているか、バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのままジャンプスタートを行った場合、本体故障の原因となります。
- 連続してジャンプスタートを行う場合は、必ず10分以上間隔をあけてください。
- 本体の出力と入力を接続しないでください。発熱、液もれ、故障の原因となります。
- 本体内蔵バッテリーは使用方法や保存方法によっては、著しく劣化する場合があります。内蔵バッテリーの劣化による不具合は、保障の対象外となります。
- 対応車であっても、車両の状態、車両の仕様、環境によってはジャンプスタートできない場合があります。
- ご使用の際は、本体を平らな安定した場所に置いて使用してください。
- 前面・後面のフィルターおよびフィルターカバーを外した状態で使用しないでください。
- 充電器を本体に接続した状態で本製品を使用しないでください。

取り扱いについて

- 衝撃を与えないでください。
本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。
- ケーブルを無理に引っ張らないでください。
ジャンプスタータケーブルなどのケーブル類を外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。

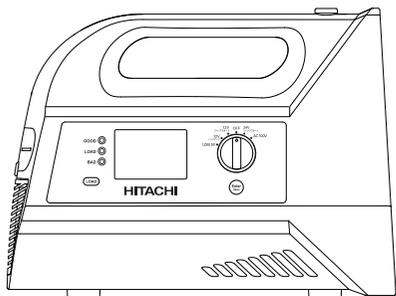
保管場所について

- 下記の場所には保管しないでください。
 - ・ホコリの多い場所
 - ・水のかかるところ
 - ・強い衝撃が加わるところ
 - ・振動の多いところ
 - ・気温-10℃以下45℃以上、湿度70%以上のところ
 - ・結露のあるところ
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・塩害、塵灰害、化学性ガス害の受けやすいところ

構成部品一覧表 (ご使用前にご確認ください。)

本製品には、下記のものと同梱されています。ご使用前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

① パワースーツ本体…1台



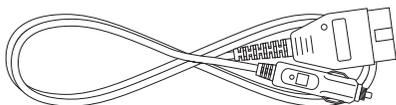
② ジャンプスターターケーブル (赤)…1本



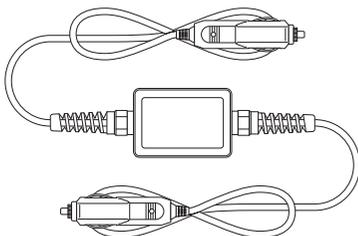
③ ジャンプスターターケーブル (黒)…1本



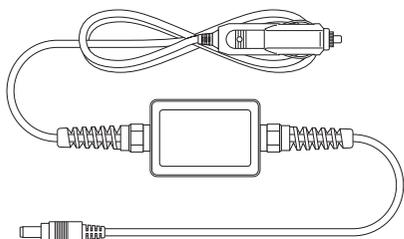
④ OBD II ケーブル…1本
(12V専用)



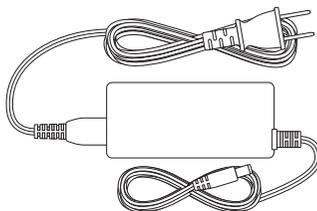
⑤ シガーバックアップケーブル…1本
(12V専用)



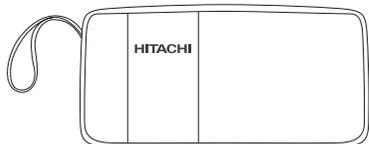
⑥ シガー充電器…1本
(12V/24V兼用)



⑦ AC充電器…1個

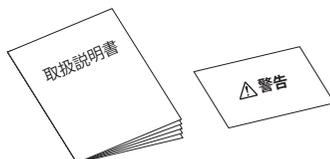


⑧ キャリングケース (付属品用)…1個

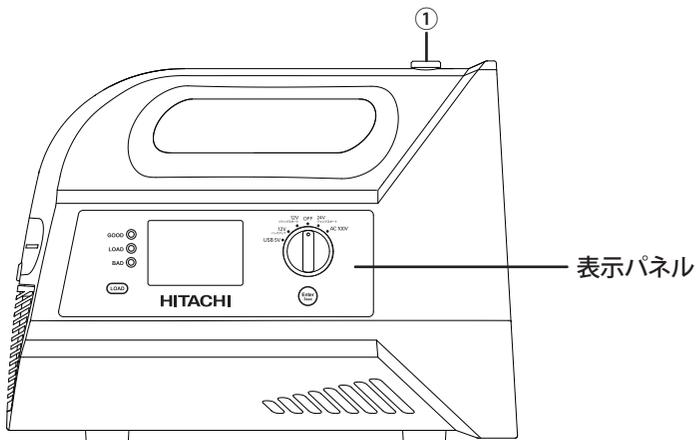


⑨ 取扱説明書 (保証書付)…1冊

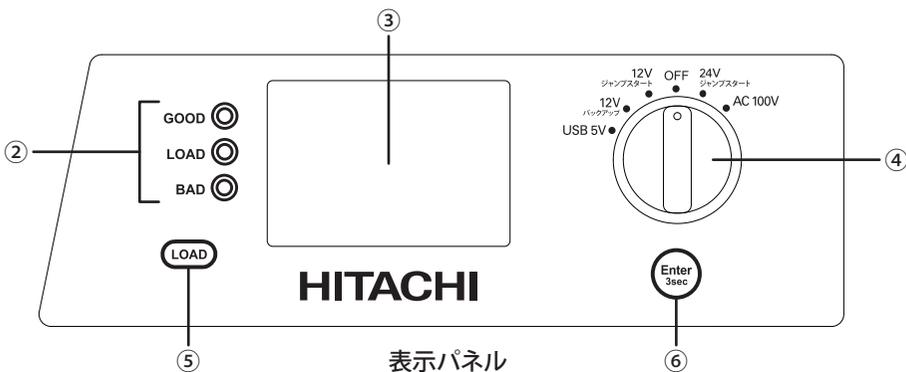
⑩ 警告カード…1枚



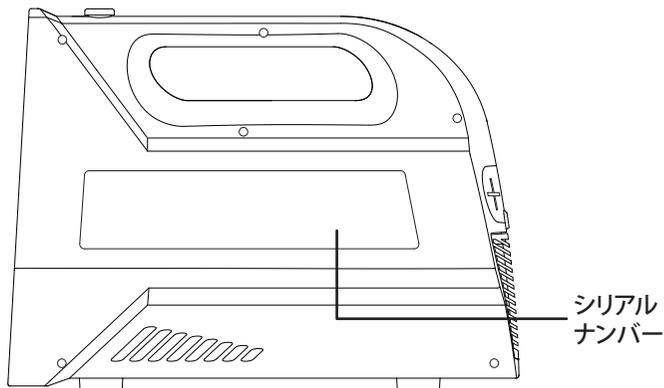
本体・付属品各部の名称と働き



右側面



表示パネル



左側面

本体・付属品各部の名称と働き

①多機能キー：

- USB 5V 出力機能において、出力停止状態でこのキーを押すと、出力を行います。
- LEDライト消灯状態でこのキーを1秒以上押すと、LEDライトを点灯します。(出力セレクトスイッチOFF以外時)
- LEDライト点灯状態でこのキーを3秒以上押すと、LEDライトを消灯します。
- LEDライト点灯状態でこのキーを1秒以下押すと、点灯モードを切り替えます。
- 本体充電中に、LCD消灯状態でこのキーを押すと、LCDが60秒間点灯します。

②LEDインジケーター：

緑色／黄色／赤色LEDにより、状態表示を行います。

- 緑色LED：各出力機能において、出力可能状態または、出力中に点灯します。
- 黄色LED：ジャンプスタート12V出力機能において、車両バッテリー電圧が0.2V～8.0Vの場合に点灯します。
ジャンプスタート24V出力機能において、車両バッテリー電圧が0.2V～16.0Vの場合に点灯します。
※黄色LED点灯時はバッテリーが故障している可能性があります。強制的にジャンプスタートを行う場合は、LOADキーを押してください。
- 赤色LED：各出力機能において、出力不可状態の場合に点灯します。
本体充電中に温度保護が働いた場合に点灯します。

③LCD表示器

④出力セレクトスイッチ：

- このスイッチを回すことで、ジャンプスタート12V出力機能、ジャンプスタート24V出力機能、12V/10A出力機能、AC100V出力機能、USB 5V出力機能、OFF状態を切り替えます。

⑤LOADキー：

- ジャンプスタート12V出力機能において、車両バッテリー電圧が0.2V～8.0Vの場合にこのキーを押すと、出力可能状態になります。
- ジャンプスタート24V出力機能において、車両バッテリー電圧が0.2V～16.0Vの場合にこのキーを押すと、出力可能状態になります。

⑥Enterキー：

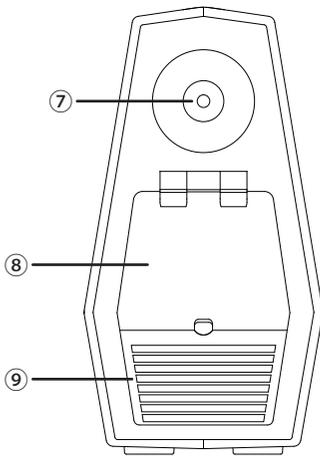
- ジャンプスタート12V出力機能、ジャンプスタート24V出力機能、12V 10A出力機能、AC100V出力機能において、出力可能状態でこのキーを3秒間以上長押しすると、出力を行います。

警告／注意

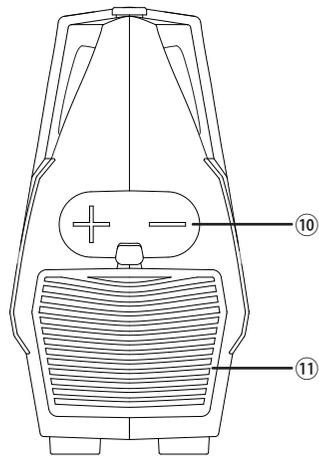
ブザー音およびLCDとLEDの全表示が点滅する場合は本体が故障しています。直ちに接続しているバッテリーや機器からケーブルを外し、出力セレクトスイッチをOFFの位置に合わせて使用を中止し、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

(カスタマーサポートセンター TEL:03-3527-6323)

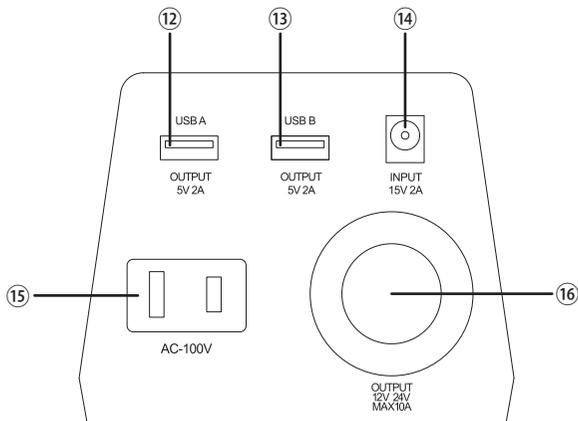
本体・付属品各部の名称と働き



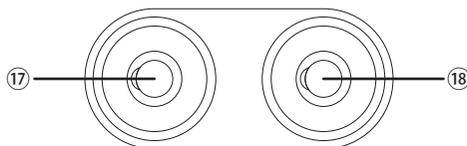
前面



後面



前面カバー内部



後面カバー内部

本体・付属品各部の名称と働き

⑦LEDライト

⑧前面カバー：

- USB出力端子A、USB出力端子B、AC100V出力端子、シガーソケット出力端子、充電器接続端子を使用する際に、このカバーを開きます。

⑨前面通気口：

- 本体内部冷却用の通気口です。
- フィルターを清掃する際、この部分のフィルターカバーを外してフィルターを取り出します。

⑩後面カバー：

- ジャンプスタート出力端子を使用する際に、このカバーを開きます。

⑪後面通気口：

- 本体内部冷却用の通気口です。
- フィルターを清掃する際、この部分のフィルターカバーを外してフィルターを取り出します。

⑫USB出力端子A (DC5V / 2A)：

- スマートフォンなどを充電する際、被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで使用します。

⑬USB出力端子B (DC5V / 2A)：

- スマートフォンなどを充電する際、被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで使用します。

⑭充電器接続端子：

- 本体を充電する際、シガー充電器およびAC充電器のDCプラグを差し込んで使用します。

⑮AC100V出力端子：

- AC100V出力機能を使用する際、電気機器の電源プラグを差し込んで使用します。

⑯シガーソケット出力端子：

- バックアップ機能を使用する際、シガープラグを差し込んで使用します。

⑰ジャンプスタート出力端子(+)：

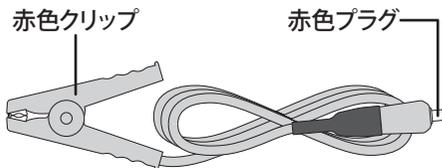
- ジャンプスタート機能を使用する際、ジャンプスタータケーブル(赤)を接続します。

⑱ジャンプスタート出力端子(-)：

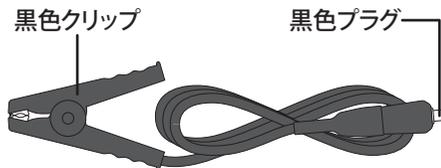
- ジャンプスタート機能を使用する際、ジャンプスタータケーブル(黒)を接続します。

本体・付属品各部の名称と働き

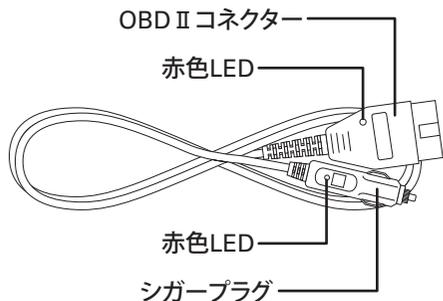
■ジャンプスタータケーブル(赤)



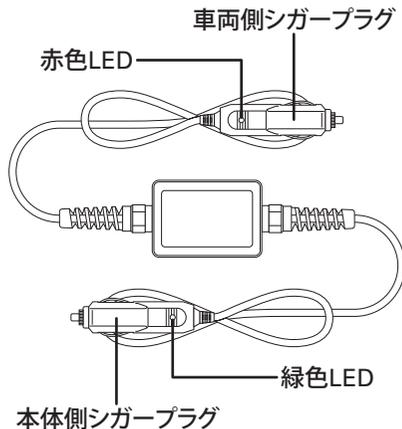
■ジャンプスタータケーブル(黒)



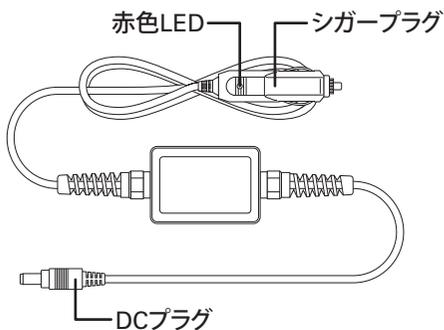
■OBD II ケーブル(12V専用)



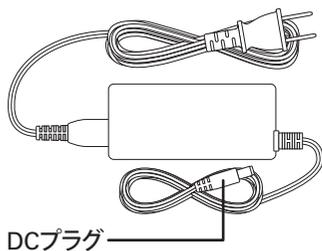
■シガーバックアップケーブル(12V専用)



■シガー充電器(12V/24V兼用)



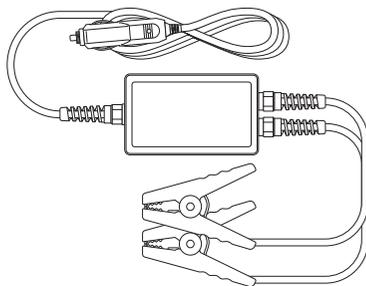
■AC充電器



別売付属品

■24V車用バックアップケーブル

●部品番号：PS64BUC



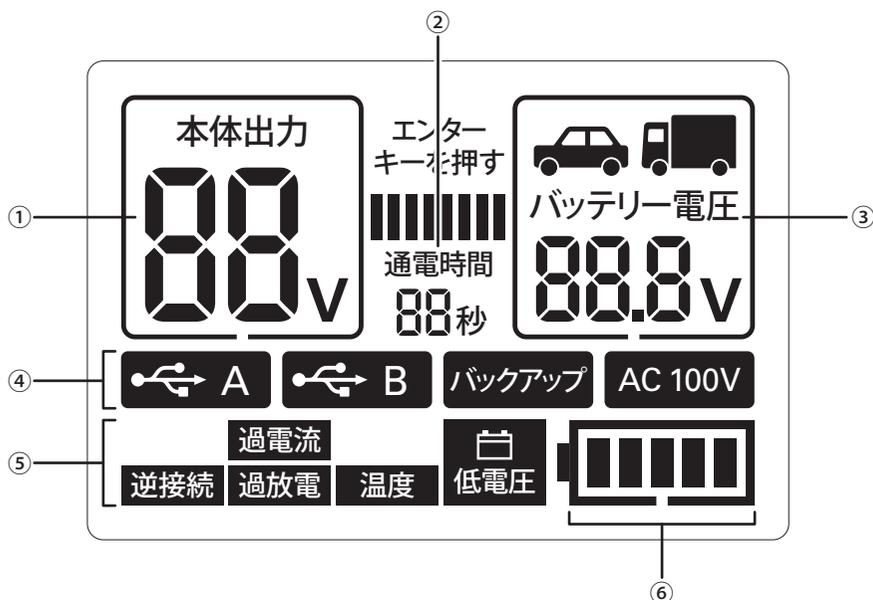
・お求めの際は、上記の部品番号をお伝えください。

仕様

1. バッテリータイプ	リン酸鉄リチウムイオン電池
2. バッテリー容量	64000mAh (3.2V)
3. 出力	USB出力端子A、USB出力端子B：DC5V/2A AC100V出力端子：AC100V(定格120W/最大150W 50～60Hz) 矩形波 シガーソケット出力端子：DC12V/10A (オプション：DC24V/5A) ジャンプスタート出力端子：DC12V/600A、DC24V/600A
4. 入力範囲	DC15V / 2A (充電用入力端子)
5. ジャンプスタート電流	600A
6. ジャンプスタート対応車(目安)	排気量6000cc以下の12Vガソリン車、 排気量17000cc以下の24Vディーゼル車
7. 出力端子形状	USB出力端子A、USB出力端子B：USBタイプA メス AC100V出力端子：JIS C 8303 2極コンセント15A/125V シガーソケット出力端子：シガーソケット (内側+極、外側-極) ジャンプスタート出力端子：独自コネクタ
8. 入力端子形状	DC2.1メス
9. 本体充電方法	専用充電器 (AC充電器、シガー充電器)
10. 本体充電時間	約10時間 (AC充電器の場合)
11. LEDによる状態表示機能	緑色LED、黄色LED、赤色LED
12. 電池残量インジケータ	LCD上に5段階の電池マークを表示
13. LEDライト機能	高輝度LEDによる3モード (点灯/点滅/SOS信号) のLEDライト機能
14. 保護回路	ジャンプスタート12V/24V出力：短絡、逆接続、過放電、過電流、逆電流、温度 USB出力、12V10A出力、24V5A出力、AC100V出力：過電流、短絡、過放電、温度
15. サージプロテクト機能	リレーON/OFF時のサージ電圧を吸収
16. サイクル寿命(目安)	約2000回
17. 防滴仕様	IPX1
18. 使用温度	ジャンプスタート：環境温度：-10～45℃、本体温度：0～45℃ その他の出力：0～40℃
19. 充電時温度	0～40℃
20. 保存温湿度	-10～45℃ 70%rh以下 (ただし結露のないこと)
21. 寸法	252mm (H) × 132mm (W) × 330mm (D)
22. ジャンプスターターケーブル長	1.5m
23. 質量	約5kg (本体のみ)
24. 付属品	ジャンプスターターケーブル (赤・黒)、OBD II ケーブル、 シガーバックアップケーブル、シガー充電器、AC充電器、 キャリングケース (付属品用)、取扱説明書 (保証書付)、警告カード
25. 別売付属品	24V 車用バックアップケーブル

使用方法

1. LCD表示



①本体出力表示：

- 本体の出力が12Vか24Vかを表示します。

②通電時間表示：

- 12V/24Vジャンプスタート時に、通電時間のカウントダウンを表示します。

③車両バッテリー電圧表示：

- 本体と接続されている車両バッテリーの電圧を表示します。

本体出力12V時：🚗表示

本体出力24V時：🚚表示

④出力セレクタ表示：

- 選択されている出力セレクタを表示します。(12V/24Vジャンプスタートを除く)

🔌 A：USB出力端子(A)出力時に表示します。

🔌 B：USB出力端子(B)出力時に表示します。

バックアップ：12V/24Vバックアップ選択時に表示します。

※24Vバックアップは、別売りのケーブル(PS64BUC)が必要です。

AC 100V：AC100V出力選択時に表示します。

使用方法

⑤保護表示：

- 各種保護が働いた際に表示します。

逆接続：プラス(+)とマイナス(-)のクリップが逆に接続されている際に表示します。

過電流：過電流を検知した際に表示します。

過放電：本体バッテリーの電圧が出力不可能な状態まで低下した場合に表示します。

温度：本体バッテリーの表面温度が仕様温度外の際に表示します。

 **低電圧**：車両バッテリーの電圧が低い場合に表示します。

⑥残量インジケータ：

- 本体バッテリーの残量を6段階表示します。

	全点灯(100%~81%)
	4つ点灯(80%~61%)
	3つ点灯(60%~41%)
	2つ点灯(40%~21%)
	1つ点灯(20%~6%)
	全消灯(5%~0%) ※点滅

使用方法

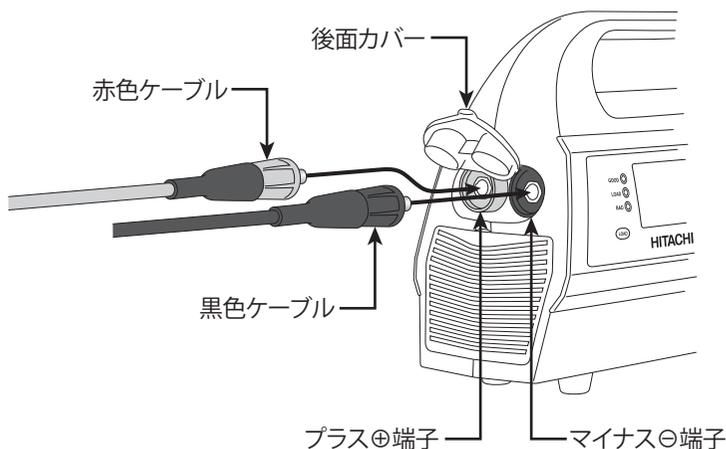
2. ジャンプスタート

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

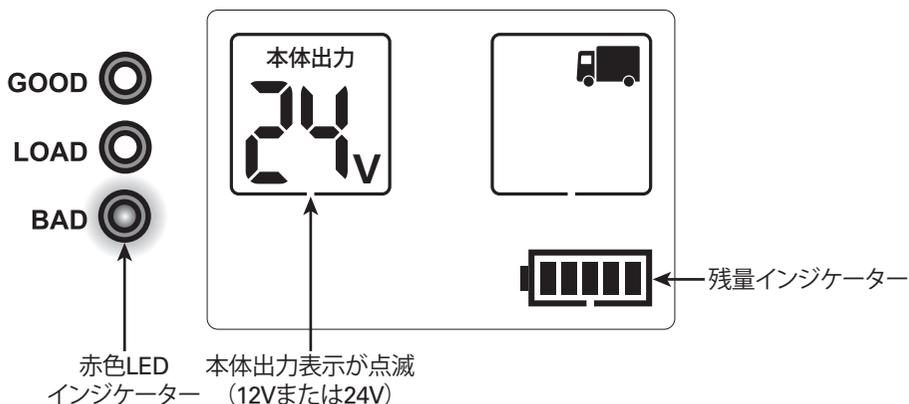
① 本体を水平で安定した場所に置き、赤色ケーブルの端子を本体のプラス⊕端子に、黒色ケーブルの端子をマイナス⊖端子に差し込み、時計回転にしっかり回して接続します。

※接続前にケーブルの端子が汚れている場合は汚れを取り除いてください。



② 出力セレクトスイッチを12V車両の場合は12Vジャンプスタートの位置に、24V車両の場合は24Vジャンプスタートの位置に合わせます。(24Vの場合はブザーが5秒間なります)

LCD表示器が下図のように表示され、赤色LEDインジケータが点灯します。



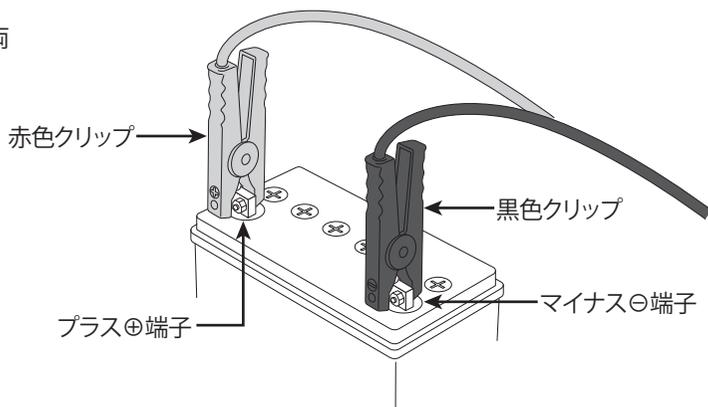
使用方法

※電圧を検知していない(車両バッテリーと接続していない)状態のため、赤色LEDが点灯します。
※残量インジケータの目盛りが3つ未満の場合は過放電保護が働くため、本体を充電してください。(P30参照)

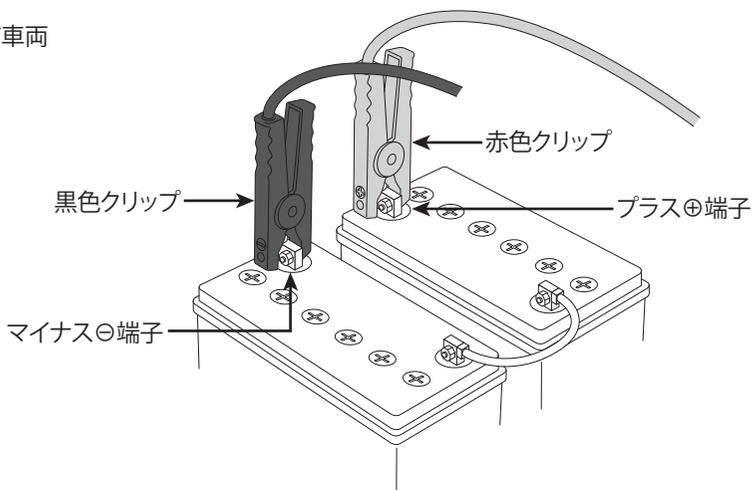
③次にケーブルの赤色クリップを車両バッテリーのプラス⊕端子に、次に黒色クリップをマイナス⊖端子にしっかり接続します。

※車両のバッテリー端子およびクリップの金具が汚れている場合は汚れを取り除いてください。

■12V車両



■24V車両



使用方法

■LEDインジケーター

- 緑色LED点灯：ジャンプスタートの準備が整いました。
- 黄色LED点灯 & ブザー音：

LCD表示を確認してください。車両側バッテリーの電圧がかなり低い状態です。

※車両側バッテリーが故障している可能性があります。強制的にジャンプスタートを行う場合は、LOADキーを押してください。LEDインジケーターが緑色に変わり、ジャンプスタート準備状態となります。

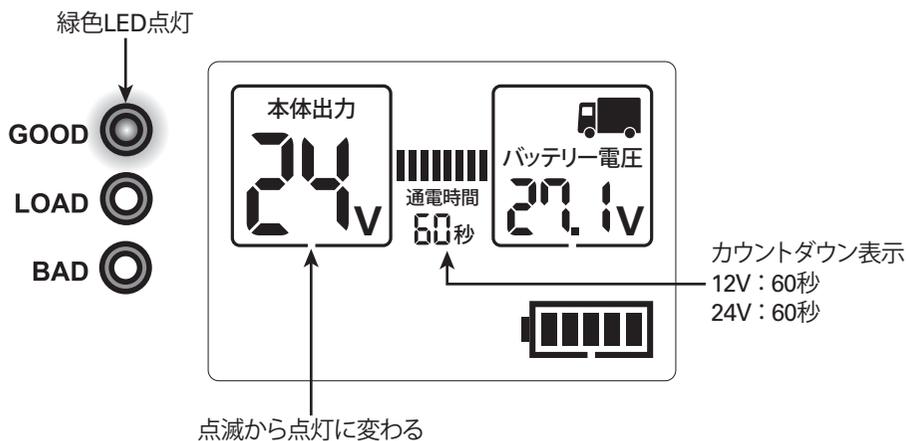
警告

- 本製品は車両バッテリーの応急補助製品です。車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しないでください。
- 極度に劣化または深放電しているバッテリーおよび故障バッテリーのジャンプスタートをしないでください。

- 赤色LED点灯(ブザー音)：

本体がジャンプスタートできない状態、または接続や車両側バッテリーの異常でジャンプスタートができません。LCD表示を確認してください。

④ 緑色LEDが点灯している状態で、Enterキーを3秒間以上押し続けます。本体のジャンプスタート出力がONになり、60秒間のカウントダウン表示が始まりますので、時間内にエンジンを始動してください。



使用方法

- 緑色LED点灯 & ブザー音:ジャンプスタート出力がOFFになりました。
 - 赤色LED点灯 & ブザー音:保護が働きました。LCD表示を確認し、出力セレクトスイッチをOFFの位置に合わせてください。
- ⑤ジャンプスタート後はすみやかに本体からケーブルを取り外します。ジャンプスタート出力がONになっていないことを確認し、車両バッテリーからケーブルの黒色クリップ、赤色クリップの順番で取り外します。最後に本体からケーブルの赤色端子、黒色端子を外します。

警告

- Enterキーを押し、本体のジャンプスタート出力がONになっている状態で、赤・黒クリップ間のショートや逆接続は絶対にしないでください。
- 連続してジャンプスタート動作を行う場合は、必ず10分以上の間隔を空けてください。
- 3秒以上クランキングしないでください。この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。

使用方法

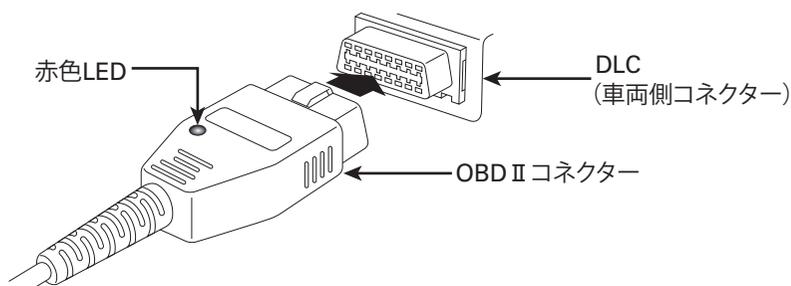
3. バックアップ電源 (12V車両)

※24V車両のバックアップは、別売りのケーブル (PS64BUC) が必要です。

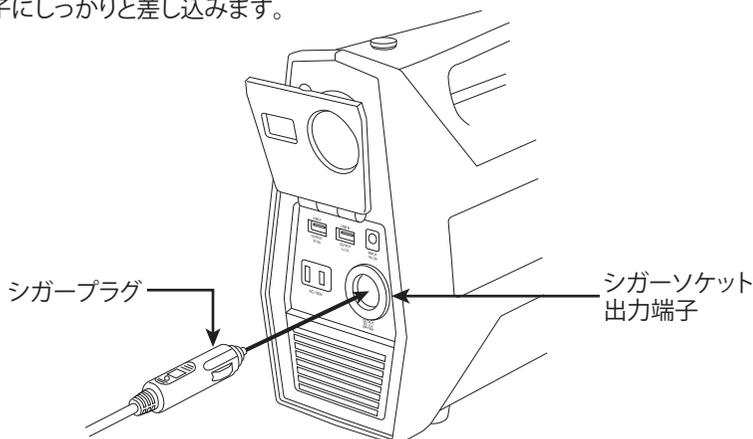
警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①車両のキーを抜き、5分以上放置します。
 - ②車両の電気負荷 (ライトなど) を全てOFFにします。
 - ③OBD II ケーブルのOBD II コネクターを車両のDLC (車両側コネクター) にしっかりと差し込みます。
 - ④OBD II コネクターの赤色LEDが点灯していることを確認します。
- ※OBD II コネクターがしっかりと差し込まれていても赤色LEDが点灯しない場合は、DLC (車両側コネクター) に電源が無いことが原因と考えられます。この場合は、シガーバックアップケーブルを使用して本体と車両を接続してください。(P21参照)
また、OBD II ケーブルのヒューズが切れてないか確認してください。(P33参照)



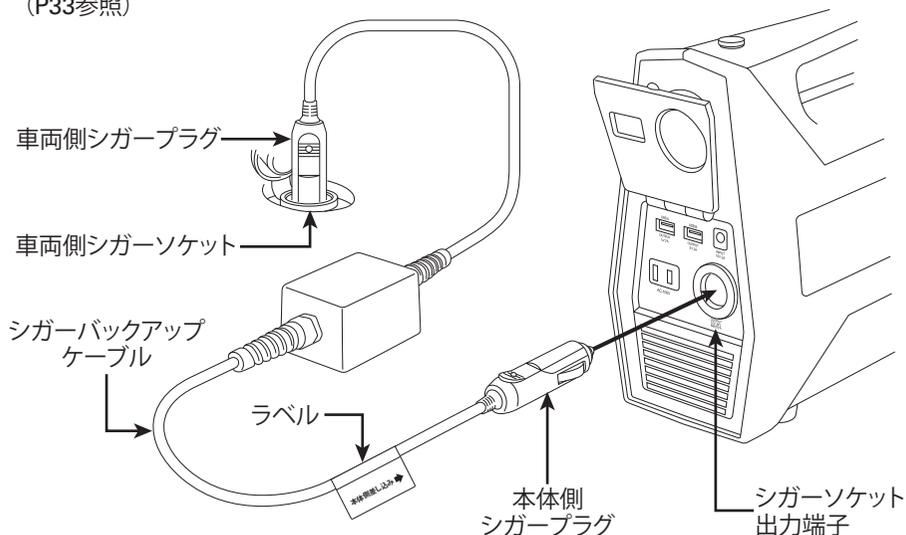
- ⑤本体を水平で安定した場所に置き、OBD II ケーブルのシガープラグを本体のシガーソケット出力端子にしっかりと差し込みます。



使用方法

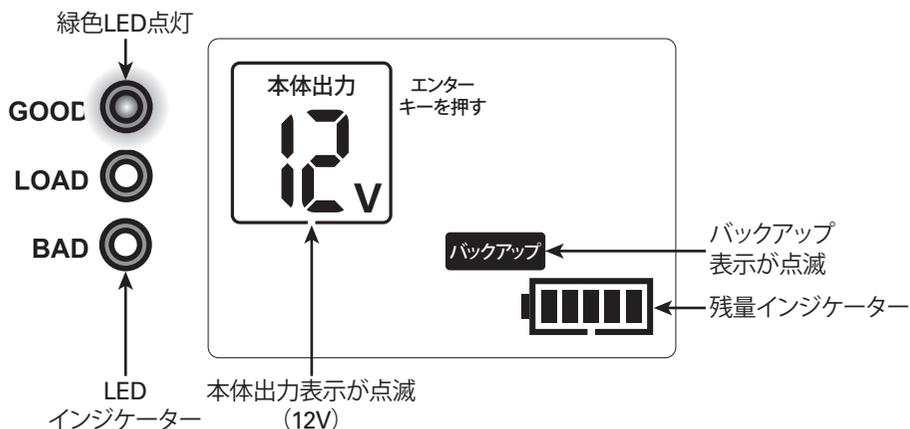
■シガーバックアップケーブルを使用した接続方法

- ①車両のキーをACCの位置まで回します。
- ②シガーバックアップケーブルの車両側シガープラグを車両のシガーソケットに、本体側シガープラグを本体のシガーソケット出力端子に差し込んで接続します。
- ③車両側シガープラグのLED点灯を確認します。赤色LEDが点灯しない場合は、車両側の電源の確認と、シガーバックアップケーブルのヒューズが切れてないか確認してください。(P33参照)



- ⑥出力セレクトスイッチを12Vバックアップに合わせます。

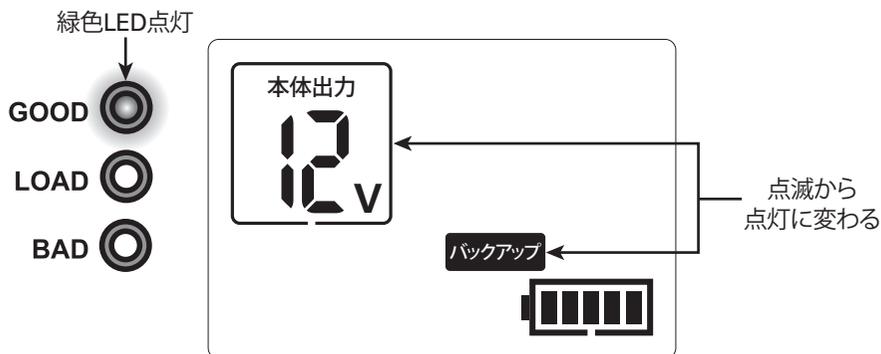
LCD表示器が下図のように表示され、緑色LEDインジケーターが点灯します。



使用方法

⑦緑色LEDが点灯している状態で、Enterキーを3秒間以上押し続けます。本体出力表示とバックアップ表示が点灯に変わり、12Vバックアップ出力が開始されます。本体に接続しているシガープラグのLEDが点灯していることを確認してください。

※シガープラグの緑色LEDが点灯しない場合は、シガープラグのヒューズが切れていないか確認してください。(P33参照)



⑧バッテリー交換などの作業を行います。終了しましたら出力セクタスイッチをOFFにして、本体と車両の接続を解除してください。

※バックアップ中にブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したり(シガーバックアップケーブル使用時はACC以上に)しないでください。バックアップケーブル内のヒューズが切れたり、本体の過電流保護が働く場合があります。

※車両バッテリーが過放電している場合、バックアップケーブル内のヒューズが切れることがあります。

※OBD II ケーブルでバックアップできる電流は最大2A、シガーバックアップケーブルでバックアップできる電流は最大5Aです。

※12Vバックアップ出力では、出力が5A以上になると冷却ファンが作動します。

※バックアップ電流が大きい場合、シガーバックアップケーブルのケースが高温になりますので、融けやすい材質の上に置いて使用しないでください。また、ケースに触れる際は高温になっている可能性がありますので注意してください。

※OBD II ケーブルは250V 2Aヒューズ、シガーバックアップケーブルの車両側は250V 5Aヒューズ、本体側は250V 10Aヒューズが内蔵されています。ヒューズ切れの場合は、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしないでください。(P33参照)

※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。

※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。

※付属のOBD II ケーブルおよびシガーバックアップケーブルは12V専用となります。24V車のバックアップは別売ケーブル(PS64BUC)が必要です。

使用方法

4. AC100V出力

警告/注意

- P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。
- 使用される機器の最大/定格消費電力を確認し、本製品の出力容量内であることを確認してください。
- 本製品のAC100V出力は矩形波であるため、平均値タイプのテスターで測定すると100Vよりも低い値となる場合があります。
- 本製品のAC100V出力はP.W.M.制御方式のため、AV機器ではノイズが発生することがあります。
- 本製品は電圧変換機との併用はできません。

■使用可能な接続機器の目安

使用する機器の定格消費電力を確認のうえ、下記の使用可能な定格消費電力を目安としてください。(あくまでも目安ですので、動作を保証するものではありません)

接続機器		使用可能な定格消費電力
ACアダプター 使用機器	携帯電話、ノートPC、プリンター、 FAX、デジカメ、電気シェーバーなど	120W
AV機器	液晶テレビ	24W～60W
	Blu-ray プレイヤー、ラジカセ、カラオケ	120W
照明機器	白熱灯	120W
	蛍光灯(スタンド型)	30W
モーター機器	扇風機、換気扇、送風ファン	40W
※機種によっては 正弦波インバータ が必要です。	電動工具(エアーコンプレッサーは除く)	40W
	水中ポンプ	24W
	くみ上げポンプ	15W～60W

■使用できない機器

下記の機器では使用できません。

冷蔵庫・冷凍庫	電気ストーブ	湯沸かしポット	ブラウン管テレビ
掃除機	こたつ	電子レンジ	コピー機
エアコン	炊飯器	ヘアードライヤー	水銀灯 など

使用方法

■ 定格消費電力の確認方法

本製品のAC100V出力は 定格120W / 最大150W となります。本製品出力容量以上の消費電力が必要な機器では使用できません。使用される機器の定格出力は、取扱説明書や製品ラベルに記載されています。

1. ○○W と記載されている場合

(例) 定格消費電力○○W

→ 記載の数値が定格消費電力となります。

2. ○.○A と記載されている場合

(例) 入力 AC100V ○.○A

→ 100Vと○.○Aを掛けた数値が定格消費電力となります。

0.9Aと記載されている場合は90Wとなります。

3. VA (ボルトアンペア) と記載されている場合

(例) 入力 AC100V ○○VA

→ VA (ボルトアンペア) がそのまま定格消費電力となります。

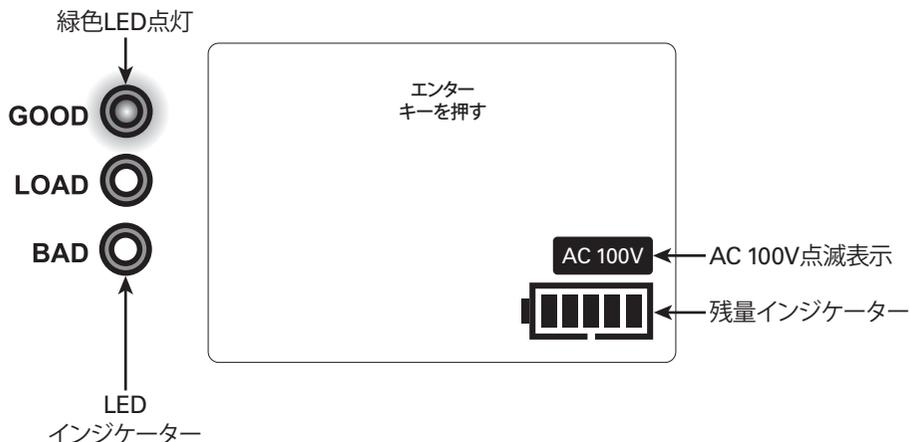
※使用機器の定格消費電力が本製品の出力容量内であっても、最大消費電力が定格消費電力と大きく異なる機器 (蛍光灯照明器具、モーターを使用した機器など) では、使用できない場合があります。

使用方法

⚠ 警告/注意

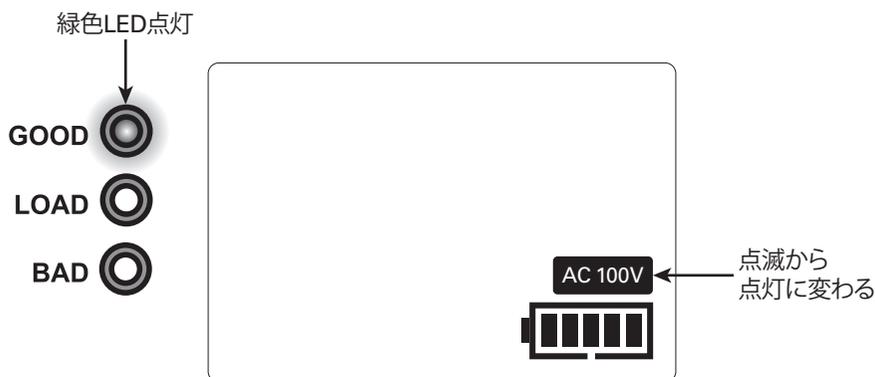
P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ① 本体を水平で安定した場所に置き、出力セレクトスイッチをAC 100Vに合わせます。
LCD表示器が下図のように表示され、緑色LEDインジケータが点灯します。



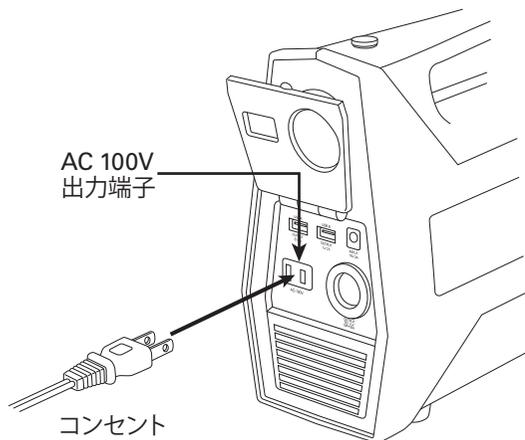
- ② 緑色LEDが点灯している状態で、Enterキーを3秒間以上押し続けます。AC 100Vの表示が点灯に変わり、AC 100V出力が開始されます。

※AC 100V出力を使用している間は、冷却ファンが作動します。



使用方法

- ③ AC 100V機器のコンセントを本体のAC 100V出力端子にしっかりと差し込みます。



- ④ AC 100V出力を終了する際は、出力セクタスイッチをOFFにして、本体とAC 100V機器の接続を解除してください。

使用方法

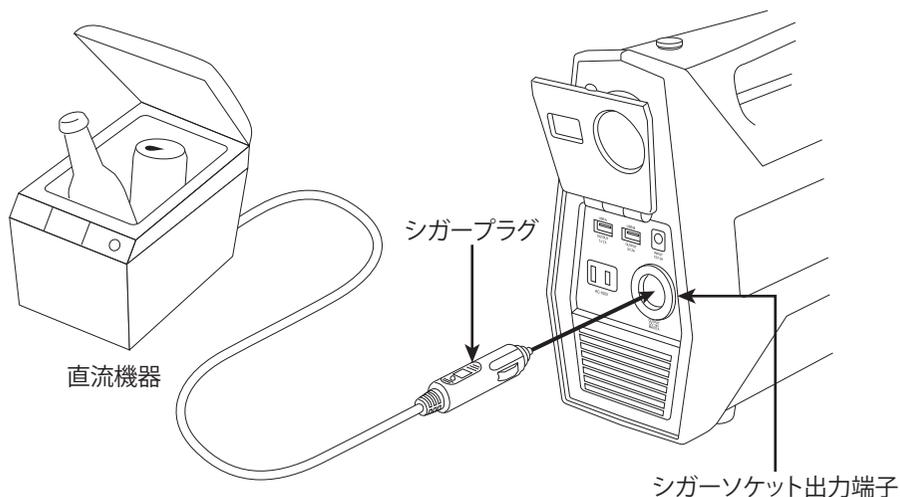
5. 直流機器のサブ電源 (DC12V)

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

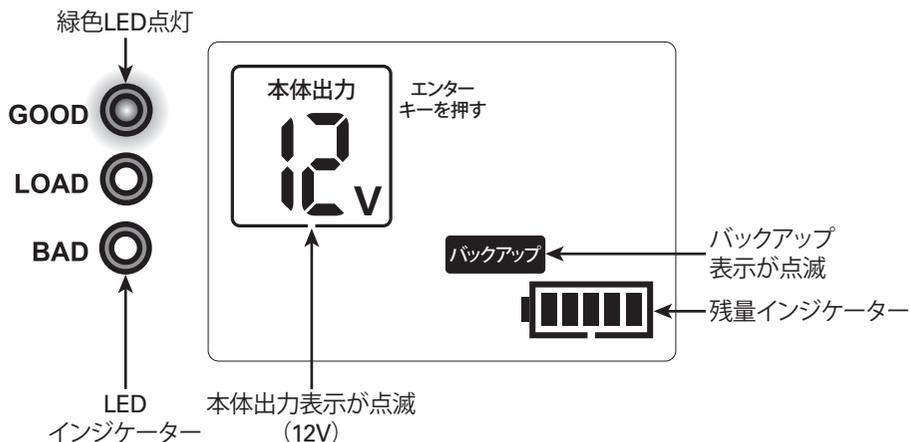
① 本体を水平で安定した場所に置き、直流機器のシガープラグを本体のシガーソケット出力端子にしっかりと差し込みます。

※必ず使用する機器の消費電力を確認してからご使用ください。



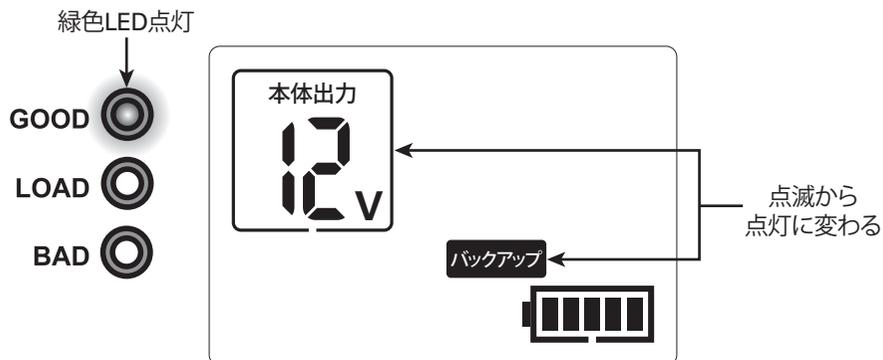
② 出力セレクトスイッチを12Vバックアップに合わせます。

LCD表示器が下図のように表示され、緑色LEDインジケーターが点灯します。



使用方法

- ③ 緑色LEDが点灯している状態で、Enterキーを3秒間以上押し続けます。本体出力表示とバックアップ表示が点灯に変わり、DC 12Vのサブ電源として機能します。



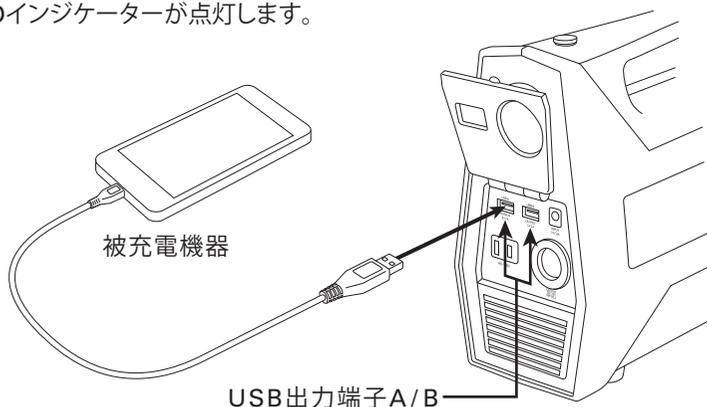
- ④ 使用後は、出力セレクトスイッチをOFFにして、本体と直流機器の接続を解除してください。
※ 定格を超えた機器に接続した場合や出力を短絡した場合は、本体の過電流保護が働き使用できなくなります。(赤色LEDインジケータ点灯および過電流保護表示)
※ 本体電池残量が0%になった場合は、本体の過放電保護が働き使用できなくなります。その場合は充電を行うことで復帰します。

6. USB出力による充電

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ① 本体を水平で安定した場所に置き、出力セレクトスイッチをUSB 5Vに合わせます。緑色LEDインジケータが点灯します。



使用方法

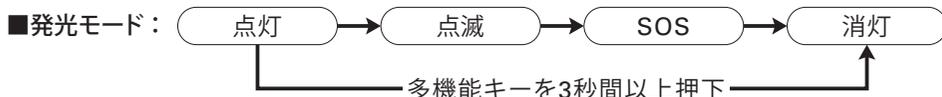
- ② 被充電機器付属または市販の充電ケーブルを本体のUSB出力端子(AまたはB)に差し込み、本体と被充電機器を接続します。多機能キーを押すと接続している被充電機器の充電が開始します。
- ※2つのUSB出力端子を使用することで、被充電機器2台を同時に充電することができます。
- ③ 充電終了後、出力セレクトスイッチをOFFにして、本体と被充電機器の接続を解除してください。
- ※USB出力端子に約150mA以上の電流が流れ続けることで、LCDに  A /  Bの表示が点灯し続けます。電流の流れないUSB端子は、一定時間後自動的に出力がOFFになります。
- ※機器によっては出力できない場合があります。

7. LEDライト

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ① 出力セレクトスイッチをUSB 5V、12Vバックアップ、12Vジャンプスタート、24Vジャンプスタート、AC100Vのいずれかに合わせます。
 - ② 多機能キーを1秒間以上押し続けると、LEDライトが点灯します。
 - ③ さらに多機能キーを押すごとに、下記の順で発光モードが変化します。
- ※点灯状態で多機能キーを3秒間以上押し続けると消灯します。



1. 本体の充電

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

本体を水平で安定した場所に置き、出力セレクトスイッチがOFFになっていることを確認してください。

■家庭用コンセントによる充電

- ①付属のAC充電器のDCプラグを本体の充電器接続端子に差し込みます。
- ②AC充電器を家庭用コンセントに差し込みます。
※必ずAC充電器と本体を接続した後コンセントに差し込んでください。
- ③本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
- ④充電が終了すると残量インジケーターが5つ点灯になります。
- ⑤充電終了後は、本体と家庭用コンセントの接続を解除してください。

■車両のシガーソケットによる充電

- ①車両のエンジンが始動していることを確認します。エンジン停止状態での充電はバッテリー上がりの原因になります。
- ②付属のシガー充電器のDCプラグを本体の充電器接続端子に差し込みます。
- ③車両のシガーソケットにシガー充電器のシガープラグを差し込みます。
- ④本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
- ⑤充電が終了すると残量インジケーターが5つ点灯になります。
- ⑥充電終了後は、本体と車両の接続を解除してください。

2. 保管方法

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

本体バッテリーを長持ちさせる長期保管の方法

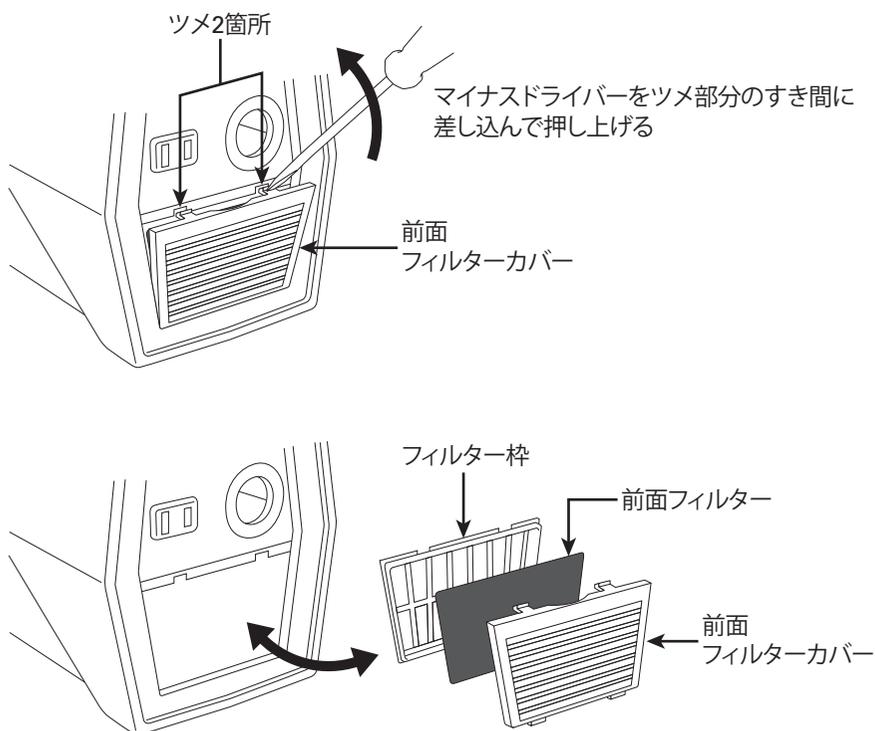
- 放電状態での長期保管はバッテリーの劣化に繋がるため、3ヶ月に1回程度の充電を推奨します。
- 直射日光を避け、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

3. フィルターの清掃

本体前面と後面の通気口にフィルターが各1枚内蔵されています。フィルターにほこりなどが溜まっている場合は、下記の手順でフィルターを清掃してください。

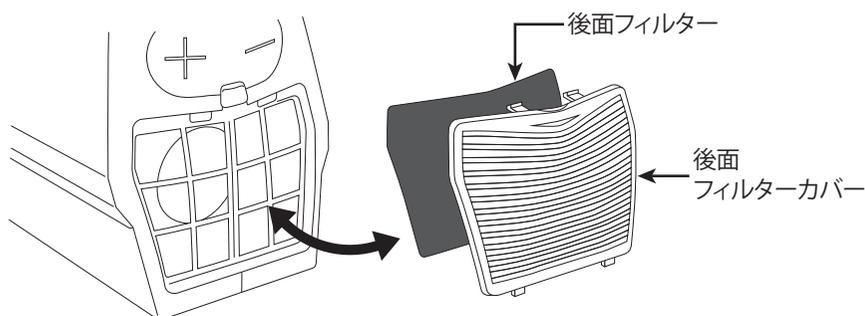
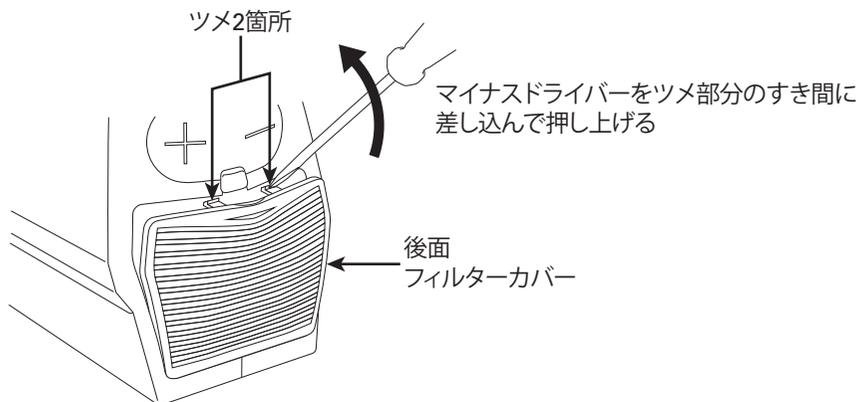
- ①出力セレクタスイッチがOFFになっていることを確認します。
- ②本体が車両や被充電機器と接続されていないことを確認します。
- ③本体が充電中でないことを確認します。
- ④前後通気口のフィルターカバーをマイナスドライバーを使用して外します。
※2箇所ずつのツメ部分のすき間にマイナスドライバーを差し込んで、押し上げると外れます。

■前面通気口



保守管理

■後面通気口



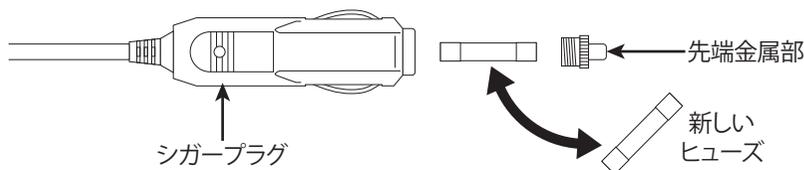
- ⑤ フィルターやフィルターカバー、フィルター枠に付着したほこりなどを取り除きます。
※ フィルター枠は前面のみとなります。後面にはありません。
※ 水洗いした場合は、良く乾燥させてください。
- ⑥ フィルター、フィルターカバー、フィルター枠を本体に取り付けます。
※ 前面フィルターは、フィルターカバーとフィルター枠で挟んだ状態で、下部のつめを本体に引っかけてから上部のツメを本体に差し込みます。
※ 後面フィルターも前面同様に、下部のつめを本体に引っかけてから上部のツメを本体に差し込みます。

4. OBD II ケーブル、シガーバックアップケーブル、シガー充電器のヒューズ交換

- ①シガープラグ先端の金属部を反時計回転に回して外し、内部のヒューズを取り出します。
- ②ヒューズ内の線が切れている場合は新しいヒューズと交換します。下記の表を参照し、必ず同仕様のヒューズと交換してください。

ケーブル		仕様	寸法
OBD II ケーブル		250V 2A	φ 6×30mm
シガーバックアップケーブル	車両側	250V 5A	φ 6×30mm
	本体側	250V 10A	φ 6×30mm
シガー充電器		250V 5A	φ 6×30mm

- ③シガープラグ先端の金属部を時計回転に回して取り付けます。



故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または
(株)日立オートパーツ&サービスにお問い合わせください。

症 状	原因と処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。 → 本体の充電を行ってください。(P30 参照)
LEDライトが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">● 出力セレクトスイッチがOFFの位置となっている。 → 出力セレクトスイッチをOFF以外にしてください。● 多機能キーを長押ししていない。 → 多機能キーを長押ししてください。
ジャンプスタートができない	<ul style="list-style-type: none">● 出力セレクトスイッチがOFFの位置となっている。 → 出力セレクトスイッチを対象車両に合った位置に合わせてください。● エアコンやヘッドライトなどの負荷がかかっている。 → ジャンプスタート時は本体の負荷を抑えるために、エアコンやヘッドライトなどの電装品をOFFにしてください。● 車両バッテリーが極度に劣化している。 → 車両バッテリーが極度に劣化している場合は、ジャンプスタートはできません。● 本製品の対応車ではない。 → 本製品の対応車は排気量6000cc以下の12Vガソリン車、排気量17000cc以下の24Vディーゼル車となります。● 始動に必要な電流が本製品の仕様を超過している → 対応車両であり接続方法が正しくても、車両の状態や仕様、環境によっては放電能力が足りずにジャンプスタートできない場合があります。● 過放電保護が働いている → 本体を充電して、残量インジケーターの目盛りを3つ以上にしてください。
USB出力による充電が開始されない	<ul style="list-style-type: none">● 出力セレクトスイッチがOFFの位置となっている。 → 出力セレクトスイッチをUSB 5Vの位置に合わせてください。● 本体と被充電器の接続がしっかりと行われていない。 → 端子とコネクターの接続を確認してください。(P28 参照)● 多機能キーを押していない。 → 充電開始時は多機能キーを押してください。

保証規定

1. 取扱説明書などの注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障箇所の修理をさせていただきますので、お買い上げの販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
3. 不当な改造については弊社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料および諸掛りはおお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包のうえ、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
5. 次のような場合には、保証期間内でも保証の対象となりません。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 本保証書にシリアルNo、お買い上げ日、販売店名、販売店印などの記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃など、お客様の取り扱いが適切でないために生じた故障および損害。
 - (4) お客様による使用上の誤り、各構成部品の紛失、あるいは修理による故障および損害。
 - (5) 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損害。
 - (6) 本製品に接続している弊社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損害。
 - (7) 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
6. ケーブル類の破損、内部バッテリーの劣化は保証の対象外となります。
7. ご不明の点は、お買い上げの販売店にご相談ください。
8. 本保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについて不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
9. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

お問い合わせ先

本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または(株)日立オートパーツ&サービスにお問い合わせください。

株式会社 日立オートパーツ&サービス

本社：〒135-0062 東京都江東区東雲2-10-14

カスタマーサポートセンター TEL：03-3527-6323 FAX：03-3527-6324

■営業時間：9:00～17:30(土・日・祝日および弊社休業日を除きます)

使用後はリサイクルへ

- 使用済み電池の廃棄に関しては、弊社担当窓口(カスタマーサポートセンター)へお問い合わせください。
- カスタマーサポートセンター TEL：03-3527-6323



Li-ion 32

